

「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」 工事内容の検証について

2022年6月27日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

■ 北海道本州間連系設備の検証は以下の通りを行う。

1. 調達プロセスの検証

東京中部間連系設備における主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方と比較し、基本的な考え方の妥当性を検証する。

2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 実施案や過去の工事实績との対比（物量に応じた工事費となっているか）。
- ② コスト低減施策を行っているか。
- ③ 実施案や過去の工事实績の概算工事に比べて増加する見通しとなった場合には、増加要因・理由や対応策。

3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。
- ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策も確認。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しとなった場合には、対応策の検証。

1. 工事内容（工事費）の検証

- ① 過去実績に比べ遜色ないことを確認した。
- ② 現地調査結果を踏まえた工区体制の見直しや調査・設計業務の効率化など、**工事費全体として現時点での適正な検討が行われている。**
- ③ 昨今の物価上昇に伴う工事費変動リスクはあるものの、現時点では、実施案以下となる見通しであり、過去の工事実績の概算工事相当になる見通し。

2. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画策定時点の工事完了時期に対して、当初の予定工期内で可能となっており、**現時点では特に問題は無い。**
- ② 実施案通りの工程で進められており、調達プロセスのリードタイムを考慮した工程が設定されており、運開期確保に向けた検討が行われている。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しはない。

3. 今後に向けて

北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、今別幹線電線張替工事の工事内容に関して提案の通り進めて頂く事となったが、

- 事業実施主体は、今回示したコスト低減への取り組みに加え、更なるコスト低減について検討を継続するとともに、その他の工事についてもコスト低減に向けた取組が行われていくことが望まれる。
- 発注手続きにあたって公平性・透明性を確保するとともに、コスト低減方策を採用した発注方式により、引き続きコスト低減に向けた取組が行われることが望まれる。